

★「やまと千本桜」の歌もつくりました！

子ども文化祭では、みなさんにご披露しています



神奈川県商店街ソングとしてDVD化し配布しました！



ドラッグシノザキ（薬粧雑貨店）
会長で店主の篠崎晴美さんです。

イベントを担う人の紹介

就業型介護 わーくすケア千本桜



店主の菅野健次さん、高齢者が集まるワークセンターです。

天然シーグラス専門店 A-glass



店主の松井亮祐さん、子どもたちが集まるワークショップです。

和菓子 みどりや



千本桜の人気店主の小菅澄子さん、桜の名所、千本桜の名店です。



大和市の人気着ぐるみ、ヤマトンも参加します。



千本桜商店会

こどもの笑顔、みんなも笑顔、まちの笑顔イベントで！



夏の納涼祭、秋の子ども文化祭は千本桜の新しい恒例の催事に



何をやるか、どうやるか、子どもたちが意見を出し合っている。



★子ども文化祭は子どもが主役！



名物のお化け屋敷、心霊写真感度は運営も子どもが



販売をお手伝いする子どもたち



子どもアルバイト受付も子どもたちが



商店街もこの日ばかりは行列ができる

大和市府田にあり、小田急江ノ島線の高座渋谷駅西口から徒歩十分、桜の名所として知られている引地川沿いにある千本桜商店会。住宅地に隣接し、かつては大いにぎわった商店街でした。その後、駅前再開発が進んだことから大型店が数多く出店、やがて千本桜商店会は十数店足らずの小さな忘れられた商店街になった。そんな瀕死状態の商店街にまた新たな環境変化。確かに周りには老人が多い、しかし次の世代の子育て世帯も住み着き始めてきた。この古い世代と新しい世帯の懸け橋に商店街がなれないか、との思いが商店街の人たちにはなんとなくなっていた。

そこで商店街の会長さんや先頭に役員たちが立ち上がった。県や市、商工会議所や地域自治会にも支援を呼びかけながら、まずは老若男女の地域住民が出会い、交流できるコミュニティ施設を空き店舗につくった、そして地域の次世代を担ってくれる子どもたちのために「子ども文化祭」というイベントを新たに開催した。この街にこんなにも多くの小さな子どもがいたのか？という驚きを商店街も地域住民も実感し、共感した。

現在、千本桜商店会は、新規の空き店舗出店者も加わり、子どもにうれしい、小さいながらも元気な商店街づくりを目指し、新旧あいまって奮闘中です。